Ėİ		<u>No.</u> 政策	349		<u>等授業料補助</u> マビもを産み		が悪かた心る	はぐくむまた	<u> </u>	
务	この事份争未 の位署	施策		心豊かな	子どもを育		<u> </u>	18 ((() 8)	<i></i>	
∓ ¥	. —		<u>事業</u> 行政課	青少年健	全育成	課長名	岡田 高	<u></u>		
$\hat{\mathbf{c}}$	この事務事業の開			昭和58年	4月	事務区分	│ □法定	·····································	■自治事務	ζ
	この事務事業の根	拠法	令	みよし市	私立高等学校					
`	事業の概要	I	7 11 14 A	6 14 - 19 - 11 - 4 ,				务事業を行う。 		
ローベルをぶつつ	私立高校等に在籍 高校等に在籍 高校との保護 等別の保護 第半月 12 ・年 10 ・年 11 ・年 11 ・ 12 ・ 12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 ・ 16 ・ 16 ・ 16 ・ 16 ・ 16 ・ 16 ・ 16	負担の 者負担 る。 , 000 • 10月 • 12月	D格差 型額が1 円/年 引	是正を図る。₹ 2,000円を下□	私立高等学校	業別の円のののでは、一次の円ののでは、一次の円のでは、一次ののでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、	無償化対象をはいる。というではいる。というではいる。またいは、またいがはいた。ないはいた。というではいる。	Rの補助額改 が拡助と が拡助と が拡助と が が が が も で の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を の が を と に に に に に に に に に に に に に	内の約半数の まの70%に及り 拡大しいした。 が実現した。)生徒がこ)118,800 ぶことに !度から、 .とかしな
ł	「SDGsの取り	<u>り組</u> ∂	<u>ሃ:4</u> 』	由語聿を	タ学校に配着	し ホールペ	<u> ごからがさ</u>	フンロードもす	エーロ語のお	った促雑者
	R2年度に実施した 事業の方法、手順 る成果等	、指	標に対	す 一人12,0	市内在住では 100円/年、申	あるか、税金 請期間 10/1	の滞納がなし ~10/31、12	\かを確認し、 月に交付決定	保護者に直し支給完了し	接支払う。 _ン た。
Į	事務事業を取り巻						(1)活動指標	(事務事業の		
	老の増加が			る対象者の減	少、私立字標			<u>名称</u> 請者数		<u>単位</u> 人
	変化 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	,,,,	,,,,,				2) 補助金交			件
	,, ,									
	対象(この事業の対	讨象、	範囲。	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大き	きさを表す指	信標)
	10月1日現在、保護	者が	みよし	市在住で私立	こ高校等に在第		1) 打头直线	<u>名称</u> 等に在籍する		単位
	徒の数						1) 私立高校 2)	寺に仕耤りる	生促致	<u></u>
١	目的(この事業によっ	って」	上記対象	えをどのような	状態にしたい	へのか)	(3)成果指標	(目的の達用	成度を示す指	* * *
	私立高校等の授業料	4負担	旦の軽減	咸			1 #44	名称		単位
							<u>1) 補助金交</u> 2)	付件数/補助金	<u>並父的中請件</u>	·数 %
Ī	結果(上位基本事業	美の 意	意図)				(4) 結果の成	果指標(上位	立基本事業の)成果指標)
	安心して生活し学習	習でき	きる環境	竟をつくる		7	1) 六八七平	<u>名称</u> けている人数		単位
						—	リ 文刊を支 2)	リしいる人致		<u></u>
					=					
I	事務事業の各種指	標の	実績と	: 見込及び目	漂					
	事務事業の各種指 指標 \ 年度	1	実績と 単位	H31年度	R2年度	R2年度 実結値	R3年度 計画値	R4年度 日煙値	R5年度 日煙値	R6年度 日煙値
	指標 \ 年度 (1)の	1	単位	H31年度 実績値 522	R2年度 計画値 513	実績値 468	計画値 434	目標値 432	目標値 441	目標値 438
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標	1 2	単位 人 件	H31年度 実績値 522 503	R2年度 計画値 513 513	実績値 468 459	計画値 434 434	目標値 432 432	目標値 441 441	目標値 438 438
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の	1 2	単位	H31年度 実績値 522 503 625	R2年度 計画値 513	実績値 468 459 571	計画値 434 434 530	目標値 432 432 527	目標値 441	目標値 438 438 534
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の		単位 人 件	H31年度 実績値 522 503	R2年度 計画値 513 513	実績値 468 459	計画値 434 434	目標値 432 432 527	目標値 441 441	目標値 438 438 534
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	1 2	単位 人 件 人	H31年度 実績値 522 503 625	R2年度 計画値 513 513 616	実績値 468 459 571	計画値 434 434 530	目標値 432 432 527 100	目標値 441 441 538	目標値 438 438 534
	指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標		单位	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4	R2年度 計画値 513 513 616 100 513	実績値 468 459 571 98.1	計画値 434 434 530 100	目標値 432 432 527 100 432	目標値 441 441 538 100 441	目標値 438 438 534 100 438
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の		単位	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会言 H31年度	R2年度 計画値 513 513 616 100 513	実績値 468 459 571 98. 1 459	計画値 434 434 530 100 434 R3年度	目標値 432 432 527 100 432 款 10 R4年度	目標値 441 431 538 100 441 項 01 R5年度	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度
	指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目		单位 人 件 人 % 人	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会言	R2年度 計画値 513 513 616 100 513	実績値 468 459 571 98.1 459	計画値 434 434 530 100 434	目標値 432 432 527 100 432 款 10 R4年度 目標値	目標値 441 441 538 100 441 項 01	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値
	指標 年度 (1) の 活動指標 (2) の 対象指標 (3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)		単位 人件人 % 人計 度 位円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023	R2年度 計画值 513 513 616 100 513 + R2年度 計画值 7,522	実績値 468 459 571 98. 1 459 R2年度 実績値 5, 491 0	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6,852	目標値 432 432 527 100 432 款 10 R4年度 目標値 5,808	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6,408
	指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)が標標 (4)の結構 の成果指標 (4)の結構 不算費 コスト 事業費(決算又は予算額)が 財源 関連支出法 は対策		単位 人件人 % 人 計 度 位円円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6,023	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522	実績値 468 459 571 98. 1 459 R2年度 実績値 5, 491	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6,852	目標値 432 527 100 432 款 10 R4年度 目標値 5,808 0	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6,408 0
	指標 年度 (1) の		单位 人件人 % 人 計 度 位円円円円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 0 0 0 0 0	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6, 852 0 0	目標値 432 432 527 100 432 款 10 R4年度 目標値 5,808 0 0	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6,408 0
	指標 (1) の (1) の標 (2) の標 (2) の標 (3) が標 (4) の標 (4) の果指標 予算 目 コスト 事業費(決算又は予算額) を 事業費(決算又は予算額) を 中の表 の表 のままで表 は、対の表 のままで表 は、対の表 のままで表 は、対の表 のままで表 のままで表 のものま のもの表 のもの。 のもの表 のもの表 のもの表 のもの。 のもの表 のもの。 のも。 のも		单位 人件人 % 人 計 度 位円円円円円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0 0 0 0 6, 023	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0 0 0 7,522	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 5, 491 5, 491	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6,852 0 0 0 6,852	目標値 432 432 527 100 432	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0 0 0 6,430	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6,408 0 0
	指標 年度 (1) の		位 人件人 % 人 計 度 位円円円円円円人	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0 0 0 6, 023 837 225 × 1	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0 0 7,522 837 225 × 1	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 5, 491 837 225 × 1	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6, 852 0 0 0 6, 852 837 225 × 1	日標値 432 432 527 100 432 款 10 R4年度 目標値 5,808 0 0 0 5,808 837 225 × 1	目標値 441 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0 0 0 6,430 837 225 × 1	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6, 408 0 0 0 0 6, 408 837 225 × 1
	指標 (1) の 標 (2) の 標 (2) が 標 (3) が 標 (4) の 標 (4) の 集		位 人件人 % 人 計 度 位円円円円円円入円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0 0 0 6, 023 837 225 × 1	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0 0 0 7,522 837 225 × 1 90	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 5, 491 837 225 × 1 90	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6,852 0 0 0 6,852 837 225 × 1 90	目標値 432 432 527 100 432	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0 0 0 6,430 837 225 × 1 90	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6, 408 0 0 0 0 6, 408 837 225 × 1 90
	指標 年度 (1) の	重 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 4 4 5 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	位 人件人 % 人 計 度 位円円円円円入円円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0 0 0 6, 023 837 225 × 1	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0 0 7,522 837 225 × 1	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 5, 491 837 225 × 1	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6, 852 0 0 0 6, 852 837 225 × 1 90 102	目標値 432 432 527 100 432	目標値 441 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0 0 0 6,430 837 225 × 1 90 102	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6, 408 0 0 0 0 6, 408 837 225 × 1 90 102
	指標 (1) の (1) が (2) が (3) が (3) が (3) が (4) の 標 (4) の 標 (4) の 集	重 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 3 4 4 5 4 4 5 5 6 6 7 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	位 人件人 % 人 計 度 位円円円円円円入円	H31年度 実績値 522 503 625 96. 4 503 01 一般会計 H31年度 実績値 6, 023 0 0 0 0 6, 023 837 225 × 1 90 102	R2年度 計画値 513 513 616 100 513 + R2年度 計画値 7,522 0 0 0 7,522 837 225 × 1 90 102 8,461 13.7	実績値 468 459 571 98.1 459 R2年度 実績値 5, 491 0 0 5, 491 837 225 × 1 90 102	計画値 434 434 530 100 434 R3年度 計画値 6, 852 0 0 0 6, 852 837 225 × 1 90 102 7, 791 14, 7	目標値 432 432 527 100 432 款	目標値 441 538 100 441 項 01 R5年度 目標値 6,430 0 0 0 0 6,430 837 225 × 1 90	目標値 438 438 534 100 438 目 03 R6年度 目標値 6,408 0 0 0 6,408 837 225 × 1 90 102 7,347 13.8

2		この事業の必要性は薄れて	■ 得られ	ている	J.	或果を満 <i>†</i>	こして	いる	
2評価		いませんか。十分な成果が 得られていますか?		ていない	理由				
CHECK	目的妥当性	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	■ ある□ ない	その理由	の授業料無	賃貸化によ	り見記	直しが必	
	ı	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	■ ある□ ない	その理由	の制度改正	こにより私	立高村	交授業料	就学支援金及び県の授業料軽減補助金 料が実質無償化となり、公立と私立の 見直しが必要
	有.	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容				こより	補助の	対象者を見直す必要がある
	有効性	目的達成状況	内容	成果を測 	満たしている	3			
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	□民間へ □指定管 検討が』				全部委請 負担金師	
	効.	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容						の効率化又は成果の向上は難しい
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容						成されたが、R2年度からの事業内容 軽減のため実施
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	□ ある □ ない ■ 受益者		現状で適正 検討が必要	内容	受益	者負担	はない
3改革改善案	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 意 対応策	大に		立高校授業 業目的がほ		れ	対応策	近隣市町の動向を参考にし事業内容 を検討
A C	年	年度の事業計画は前 度から変更・追加は 前年 るか	┏ 住で	あるか、	:保護者につ 税金の滞納 者に直接支	がないか	を ³	変 更 ・ 追 加	授業料を負担する保護者が大きく減ると思われたが、新1年生の授業料を引き上げた高校も多く、実質無償化になっていない場合が多い。
T I O	今	後の事業・コスト・成果の	の方向性						、改革・改善案 業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容
N		□ 拡大 □ 改 現 □ 現 □ 統 ○ 統 ○ 完 □ 廃				近隣市町	丁の動	向を参	考にし検討する
		ストの方向性 ↓ 減少							
	成:	果の方向性 → 維持							

1 [<u>事務</u>	务事業名	No.	350							
₽ĺ	<u>- w</u>	古双古坐	政策	Ę	安心して	子どもを産み	∤育て、誰も	が豊かな心る	とはぐくむま	ち	
多		事務事業	施策	Ę	心豊かな	子どもを育っ	てよう				
F	U.	D位置 -	基本	事業	青少年健		-				
ŧĪ	主	管課名		行政課			課長名	岡田 高	·行		
וכ		務事業の開				年6月29E			受託事務	■自治事務	<u> </u>
見		務事業の根				奨学金の支給			~ 40 1-122		,
Ŀ	事業の		<u> </u>	• 1-	1 -7 0 - 0 - 1	· <u> </u>			 務事業を行う	担切またけ田	i dh

>				憂秀な 語	ら校生・大学:	生に対して、			り修学が困難		
_		金を支給す	る。						付することに		・受ける機
4		年度~						₣え、有能な.	人材を育成す	る。	
٧l		高校生	8,	0 O O P	9/月(96,	000円/					
文	年)										
ĸ		大学生 1	2.	0 0 0 P	9/月(14	4,000円					
5	/年		_ ,			.,					
5		_ DGsの取	り組む	7 4 · 1	4 101						
		D G C 17-1X	> 421-	, ,	.,						
H					士经西州	- : 成績優秀な	・ 一	ナオス 奴に	文的な理由でき	せ学が田雄か	七 促雜字
	DO在は	生一中 佐 しょ	. 8 /+	65+×			・子生のより	土化し、程が	ず的な理由で	汎子が凶無 な	刀。休丧名
		まに実施した				上市内在住。	000E T	~	ООП		
		D方法、手順	i、 fi	帰し対	9 又桁観:	高校生月額8,	000円、大	f生月좭12,0	υυ⊢]。		
	る成乳	卡寺			申請(継	送続)手続き:	3月に書類	走出			
	事務事	業を取り巻	くり	況は過	去と比べ変ん	化しているか	\	(1)活動指標	(事務事業)	の活動量を表	まず指標)
ľ		経済的に立	学压	難な世	帯が増加する	一方で就学に	必要な書	T	名称	<u> </u>	単位
		用が高くな			111 W - B 11 1 1 0	, 12 C MG 1-10	_	1) 奨学生申		-	—————————————————————————————————————
	変化	\univalie] / \o		ა .თ.∘				<u>) 关于工中</u> 2)	<u>нп I I У</u>		
	内容						<u> </u>	-/ 1			
H	116 (`		(a) # -		1. 1. 1. d. d. 1. 11.	. 1983
	対象(この事業の	対象、	、範囲。	となる人、物	J)		(2)対象指標	『(対象の大き	きさを表す指	[標]
ľ	経済的	1理由により	就学[和難な 🗅	学生及び生徒				名称	;	単位
	小工ハコロコ	PEHILON)	יוני טעני	<u> П</u> ХЦ'6	1 0 12		1	① 奨学生申		•	
							1	2)	明省数		
H		=		1 = 7 + 1 #	+ 1001 24				5 / D # 6 **	*** + +	- 1= /
	目的(こ	この事業によ	って	上記对家	えをどのような	状態にしたい	(のか)	(3) 成果指標	『(目的の達)	攻度を 示す指	「標)
	高等学	校及び大学	への	就学援明	力をする。				名称	i	単位
							(① 奨学生認			
							(2)			
Ī	針里 (上位基本事	坐の	音図)				<u> </u>	大果指標(上 個	位其太重要 σ	(成里指揮)
					477 - L 7 - m	(-		「中かれたのか			
	安心し	て生活でき	, ک	んどんき	学習できる環:	境をつくる			<u>名称</u>		単位
								1) 支給を受	<u>:けた奨学生の</u>)数	人
ļ								2			
I	事務事	事業の各種指	標の	実績と	見込及び目	標					
ľ			T		H31年度	R2年度	 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	指標	₹ \ 年度	4	単位	実績値	計画値	実績値	計画値	日標値	日標値	目標値
ŀ		(1)の	(1)	件	天根 胆 27	50	<u> </u>	45			45
		動指標	2	 	<u> </u>	30		40	43	40	40
ŀ			1	1	27	50	27	45	45	45	45
	لباد	(2)の 象指標	2	人	21	30		40	43	40	40
ŀ			 	<u> </u>	0.0	AF.	0.1	40	40	40	40
		(3)の # 田 +ヒ+西	1	人	26	45	21	40	40	40	40
ŀ		果指標	2			4.5		10	10	40	40
		の結果の	1	人	26	45	21	40	40	40	40
		果指標	2	<u> </u>		<u>. </u>			<u> </u>		
	予算費	目	1 3	会計	01 一般会計				款 10	項 01	目 03
	コスト			年度	H31年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
					実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
	事業費()	決算又は予算額)		単位	3, 132	6, 242	1, 992	6, 240	6, 240	6, 240	6, 240
		国庫支出金	È	千円	0	0	C			•	0
	財	県支出金		千円	0	0	C	C	0	0	0
	源	地方債		主角	0	0	C				0
	内	その他		宇円	1, 584	3, 120	996	3, 120	3, 120	3, 120	3, 120
	訳	一般財源		丰苗	1, 548	3, 122	996				3, 120
ŀ	人件費			뇀	1, 411	1, 411	(0, 120
		<u>L D</u> 战員従事時間×	人坐石	時間×人	425 × 1	425 × 1	0 × 0	,		425 × 1	0 × 0
						425 × 1					
ŀ		職員以外の人作	+賃	千円	0						0
Ļ		也の費用C		五田	0		1 000	•	-		0
L		ルコストA+		<u> 千円</u>	4, 543		1, 992				6, 240
		たりコスト		千円/人	168. 3		73. 8				138. 7
		/(2)の対象指揮		千円/	l ol	Λ	(nl 🕜	I N	

様式1-2 - 事務事業名 No. 350 奨学金支給事業

2		この事業の必要性は薄れて	 ■ 得られ	ている						な学生・生徒に、学業に必要な資金を
2評価		いませんか。十分な成果が	= 19 54		理由	支	給し、教	教育の)機会均	等・有用な人材育成に寄与している
恤		得られていますか?	│ □ 得られ	ていない						
c					環境変化	上に1	伴う対象	の変	更が生	じないため
HEC	則	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡	□ある							
E	型型	大・縮小)必要はありませ		その理由						
K	妥当性	んか?	■ ない							
` `	性				環境変化	化に化	伴う目的	の変	更が生	じないため
		事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目	□ある							
		的の追加・拡充又は絞込)		その理由						
		必要はありませんか?	■ ない							
		今以上に事業の成果を向上								に困難な学生や生徒に就学の機会を広
		させる方法を記入して下さ		げること	とはでき	る。	ただし、	市負	担は増	となる。
		ر١ _°	内容							
		※(3)の成果指標を向上させる								
	有	ことはできますか? 					/= // ==		- + b 337 ===	the state of the s
	効	目的達成状況	 _{内 容}							難な学生・生徒に、学業に必要な資金 育成の目的を果たしている
	狂	日时连队认况		を文和し	し、叙目	の放	云均守。	79 /1	は人的	自成の自的を来たしている
					の一部才	委託)全部委	
		市関与の必要性	内容	口指定管		+4		<u></u> 功金・	負担金	助成 ■市の直営
		(実施手法)		叩匣呂(の奨学金	又杭	争未			
		事務事業の統廃合により、					(愛知県	具私学	助成事	業、民間の奨学金 等)であり、再編
		事業の効率化を図り、成果		の可能性	生がない					
		を向上させる方法を記入し	内容							
	効	て下さい。								
	率性	現状より事業費・人件費を								請者のみとなっていたため、令和2年
	性	削減する方法を記入して下								よる添付を必須とした。これにより、 票交付費の歳入増と、税務担当課の人
		さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は	内容		削減され					宗文門員の戚八相と、元初三当杯の八
		安武、促争時間の削減寺はできないか?)								
	\vdash			<u> </u>				直接	幹的な受	・ 益者はいないため
	公	受益者負担はありますか?	□ ある		現状で適	正		1.	XHJ 0-2	EEE 1.00 00 7.207
	平性	また、受益者負担割合は適	□ない		検討が必	要	内容			
	性	正ですか?	■ 受益者	針がいない						
<u> </u>			奴汶	的な理由	1 1.1 化	文学の	り継合た	<u>#</u>		今後も返済義務のない奨学金として
	事	業実施上の課題、住		めなほか						事業を継続していく。
革	民		見		,,,,,,			Ĭ	対応策	7 518 2 42 432 5 5 5 7 6
改業	اع	対応策								
改革改善案	D2	ケウラボニエリナ	奨学	生申請者	の認定署	* 查	· 給付	+	* =	 変更なし(事業内容に変更がないた
	LO:	年度の事業計画は前 度から変更・追加は 前4	/ / / 		TO HOUSE		4413		変更	(b)
A C	一あ	度から 変更・追加は m⋅ るか	十段						追加	
Т		 後の事業・コスト・成果	の古白州					**	7.十.古.	L この単・改善案
I	י די	後の争未・コヘト・成木	の力削土				-			E、 以 中 ・ 以 音 未
0 N		□ 拡大								- 経済的な理由により奨学金を申請
'`		口。改善				-	する保護	養者が	「急増し	ている。支給要件(所得、成績)
		■現状約	推持							は申請者全員を奨学生として認定
		□縮小□統合					できるよ	、フ杉	は討する	0.0
		□廃止	• 休止							
	□.	ストの方向性 → 維持								
	成:									
		→ 維持								

<u>様式1-1</u> 記入日 令和03年12月08日

	<u>No</u>	363		委員会運営	<u> </u>	ISHH I I S		r.				
この事務事業	<u>政策</u>			心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち 豊かな子どもを育てよう								
の位置	施策				てよう							
主管課名		<u>事業</u> 行政調	青少年健 ■	王育队	課長名	岡田 高	· %=					
この事務事業の開				年6月10日			_[1] 受託事務	■自治事務				
この事務事業の根			社会教育		1 事物位/		又可是一种	■日/日学行]			
事業の概要	()/2/2	, la		<i>1</i> <u>A</u>	理左の世	ニコレニの車	務事業を行う	担切士たけ理	i ch			
予未び似女	A	. 7	\ +1 =+ \			-		依拠よ たは塩				
O社会教育委員:						教育委員		ᄩᆔᆉ				
、助言をいただ	₹, -	ラ佐の作	工会教育事業(刀振興を凶る		(教育安貝云	年3回開催	、吊外団修				
\					○±-	数音行政に	ついて、民間	わ地域の音点	た反映さ			
	い組む	74 · 4 I					会教育委員は					
と 「SDGsの取 K	> 441	,					23/12/10					
50 	_ ,,			いては、新型	ピコロナウイ	ルス感染拡力	大防止のため、	、初回1回の	開催となっ			
R2年度に実施した			上した。	· + 1 - ^ + / - * 	5 7 7 A 114	п т « ўт — ч		∧ I.4∈тπ <i>l</i> /σ	^ <i>/</i> /- ~			
事業の方法、手順	、指	保に対					可支部の研修:		云寺につい			
る成果等			رائد. و	へし新空ゴレ	- ノ ゚ノ1 ル人	您呆払人的↓	上のため中止。	こなうに。				
	E / 14	- 治1十元	キレレベホル	化しているも	\	(1) 活動性細	(事務事業)	の活動是たま	まお (本)			
			ュムこれ、文	1P C C C 1.971		いかロ判旧情						
特に変化は	1、4、6、	•			1		名称 ^数	1	<u>単位</u>			
変 化					<u> </u>	<u>D 安良云凹</u> 2) 調査研究			<u>回</u> 数			
内容						6/1 响且明九	于仅					
対象(この事業の	 対象.	節用.	となる人、物	1)		(2) 対象指標	!! (対象の大:	きさを表す指	(標)			
社会教育委員			_ 0. 0 / 10 //.	,			名称		単位			
江云扒月女貝					7	1) 社会教育		•				
						2)	<u> </u>					
目的(この事業によ	って	上記対象	まをどのような	状態にしたい	のか)	(3) 成果指標	『(目的の達』	成度を示す指	[標]			
社会教育行政に関							、、11757 (27 名称		単位			
江玄教月刊以に関	<i>እ</i> ወ ነ	画正 47	定日 切合で	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		1) 助言・提	<u> 1970</u> 言などの意見	· 1数	<u> </u>			
							り入れ改善し		一			
結果(上位基本事	業の [†]	 音図)					大大村村					
生涯学習に自主的			ストコニオス			1	名称		単位			
工作于自己日工的	1~岁/	שות כבי	ひみ ノニッツ		(1) 生涯学習	<u>101/1</u> 'に満足してい		- 単位			
						<u>2</u>	1-1-1-1	<u> ФУСФУН1</u>	7.0			
事務事業の各種指	標の	実績と	見込及び目									
	T		H31年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
指標 \ 年度		単位	実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値			
(1) Ø	1	□	2	3	1	3	3	3				
<u>活動指標</u>	2	数	10	10	10							
(2)の +1を#54種	1	人	11	11	11	11	11	11				
対象指標	2	1#	4	10	2	10	10	10				
(3)の 成果指標	2	件件	4 1	5	<u>Z</u>	5						
(4)の結果の	1	%	44. 8		31. 1	50						
成果指標	2	· •	'	50	J1	30		30				
予算費目		会計	01 一般会計				款 10	項 05	目 01			
コスト		年度	H31年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
			実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	499	676	88	-			930			
財 国庫支出金	<u> </u>	千円	0	0	0 0	C		0	0			
│ │源│ 二二字屋 		千円	0	0	0	0			0			
内での他の一般財活		丰円	Ö	0	0	C			Ö			
		丰用	499	676	88	999	990	930	930			
人件費B		千円	2, 739	2, 739	2, 739	2, 739	2, 739	2, 739	2, 739			
正職員従事時間×		時間×人	825 × 1	825 × 1	825 × 1	825 × 1		825 × 1	825 × 1			
正職員以外の人件	‡費	千円	0	0	0	C			0			
その他の費用C	D . A	千円	204		0 007	2 720	,	•	0			
トータルコストA+l	B+C (1)	千円 千円/人	3, 442 312. 9	3, 619 329	2, 827	3, 738						
単位あたりコスト		T 🗂 / 🙏	ı 51/91	3291	257	339.8	339	333. 5	0			

成果の方向性

維持

様:	式1.	-2 事務事業名 No. □	363	3	社会	教育委員	会運営事				
2		この事業の必要性は薄れ	7						ロナ	ウイルス感	 染拡大防止のため、十分な成果が得。
評価		この事業の必要性は導化 いませんか。十分な成果が 得られていますか?				ιている ιていない	理由	れるり	き況に	ない。	
СН	ш	事業進展等による環境変化			 ある		拡大、統	小に関	する意	意見は今の	ところ会議での意見はない
E	的妥	に伴い、対象を見直す (i 大・縮小) 必要はありま-			ない	その理由					
ĸ	[的妥当性	んか?			<i>م</i> ل،		11 0 1/4	= \± ı = ±		v == 1: + 7	o- 04+0++-14-+
	'	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(ある			法に基	つく』	必要かある (ので、目的を見直すことはできない
		的の追加・拡充又は絞込 必要はありませんか?		-	ない	その理由 					
					<i>ر</i> ه د ۰	活動内容	 容につい ^っ	て検討し	たい		
	有	今以上に事業の成果を向っさせる方法を記入して下い。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	さ	内	容						
	有効性	目的達成状況		内	容	新型コ	コナウイル	レス感染	拡大	防止のため	、達成度は下がっている。
		市関与の必要性			_	□民間/ □指定管	の一部委			への全部委金・負担金	
		(実施手法)		内	容		が設置する				
		事務事業の統廃合により、				提言、「	助言をいか	こだくこ	とが	目的であり	、統廃合を考える事業ではない。
	杰	事業の効率化を図り、成 を向上させる方法を記入 て下さい。		内	容						
	効率性	現状より事業費・人件費		外部委託	託等はでき	きない					
	11土	制減する方法を記入して さい。(仕様の変更、外 委託、従事時間の削減等 できないか?)	部	内	容						
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			 ある	<u> </u>	現状で適	Œ		受益者負担	を求める事業ではない
	公平			•	ない		検討が必	要内	容		
	性	正ですか?			受益者	皆がいない	1				
3改革改善案	事民と	事業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策	意	見	社会る。	教育事業	の充実が	求められ	れてい	対応策	近隣市の状況を考慮しながら、事業 内容を検討していく。
善案		ケウェル・		\rightarrow	会議	 議開催				* =	│ │継続して実施するため、前年度と同
A	年	3年度の事業計画は前 =度から変更・追加は	前年	F度	東海	北陸社会 西三河支				* '	様・同規模で実施。
C		るか	482	~ ±	会等	に参加	. 417 47 47 19			ᅸᄱ	
I O		↑後の事業・コスト・♬	以朱(リカ コ	191生			, ,,			E 、改革 • 改善案 『業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容
Ň			太大 女善 見状維 ない	辪				要が	ある	が、新型コ	動内容について、今後検討する必ロナウイルス感染拡大防止のためにみて影響を受けている
			在合 已了								
			<u>₹止・</u>	休止							
		→ 維持									

1		No.	366	青少年補	導員活動事業	<u> </u>				
多		<u>政策</u> 施策			<u>子どもを産み</u> :子どもを育		<u>が豊かな心を</u>	とはぐくむます	5	
訓	の位置		事業	<u>しまかる</u> 青少年健		(4)				
其		教育	行政調		<u> </u>	課長名				
ומ	この事務事業の開			昭和54年		事務区	→ □法定	受託事務	■ 自治事務	<u> </u>
윘	この事務事業の根	拠法	<u> </u>	みよし巾	青少年補導員		2回しこの声	を 古 米 ナ 仁 ミ	+0 +m -+ + /+ TB	3-6-
	事業の概要	~ — n	.	、こっま 小 ケ -	+ 4 0 7 BB BB			務事業を行う ***ロロース		
2	社会全体の問題の							然に防止する 場所・遊び場		
<u>.</u>	育成活動、保護育						ど、情報交換		// 07 危快固//	11-717-0
1	における青少年の			のため、青少 ⁴	年補導員によ		活動(随時)			
及び	る補導活動を実施	をする	5.					三好池まつり		
١	「SDGsの取	い知	み・1	6.1		0至14	会議: 原則	每月最終木曜	日 (5・8・1)	月を除く
5	10003074	. フ 州 山	, o , r	0,1		∅ブロ	ック会議 : 8	月		
						◎合同]会議:5・1〕	目の最終水曜	日	
ŀ				口带的お	担当地区の見	10000000000000000000000000000000000000	1			
١	R2年度に実施した	具体	的な	ロ 日 吊 的 な 日 中 学 校 区	担ヨ地区の別において青ん	8回り(随時 パトで巛回() 各地域1调間	1 1)		
	事業の方法、手順			す 特別補導	活動:三好池	也まつり、い	いじゃんまつ	りり中止のたる		った。
	る成果等							養回数を減ら	した。	
-	市双市业土工工业	/ ,1.15	2014-25		<u>非行防止・危</u>			· / 古水古业	の江升日ナナ	
1	事務事業を取り巻						(Ⅰ)沽動指標	(事務事業(
	抽加 低年			の悪化に伴いる	、青少年のま		 	名称 活動実施回数		単位 □
	変 化		C C U	ૺ				<u>心助天心四数</u> ・合同会議開		
	内容						<u> </u>		111111111111111111111111111111111111111	
ŀ					,		(a) 11 fz 11 12			
ı	対象(この事業の対	付象、	範囲	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大		* * *
	18歳未満の人口					-	1 主小ケー	<u>名称</u>		単位
							① 青少年人 2)	<u> </u>		-
İ	目的(この事業によ・	って」	上記対象	きをどのような	:状態にしたい		<u> </u>			標)
ı	青少年が問題行動で				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		(-)))4)(1)(1)(1)	名称		単位
			0.0),-c = 0		(① 補導員の	青少年への声		件
ŀ						(2			
	結果(上位基本事業						(4)結果の成	果指標(上		
	心身ともに健全に原	ず長 し	してもら	ò う		1	1) 基小左结	<u>名称</u>		単位
						(1) 青少年補 2) 子ども会	<u>導員の定期巡</u> 加入率	<u> </u>	<u>箇所</u> %
Ì	事務事業の各種指	標の	実績と	見込及び目標	 票	1	<u> </u>	77.57		, ,
ľ	七冊 〉 左座	,	¥ /-	H31年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ļ	指標 \ 年度		単位	実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
	(1)の 活動指標	© G	<u></u> 回	86 12		2	6			
ŀ	<u> </u>	1	人	11, 611	11, 611	11, 350	•		•	11, 350
	対象指標	2				•			,	·
	(3)の 成果指標	<u> </u>	件	220	220	1, 130	576	576	576	576
ŀ	<u> </u>	1	箇所	86	_		_	_	_	_
	<u>成果指標</u>	2	%	79. 6	80	74. 2	80			80
	予算費目	1 3	計	01 一般会計		D0 /- /-	D0 4- 4-	款 10	項 05	目 02
	コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
ŀ	事業費(決算又は予算額)	A	単位	2,621	1,530					1,638
	財国庫支出金	È	千円	0	0	0	0			0
	財 県支出金 ルカ債		<u>千円</u> 千円	0	0	0				0
	内 スの仙		<u> </u>	0	0	0	0		0	0
	一般財源		千円	2, 621	1, 530	1, 173	1, 370	1, 638	1, 370	1, 638
	人件費B	1 का	千円	1, 245	1, 245	1, 245				1, 245
	正職員従事時間×. 正職員以外の人件		時間×人 千円	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1
ŀ	その他の費用C	具	干円	41	41	41	41	41	41	41
Į	トータルコストA+B		千円	3, 907	2, 816	2, 459	2, 656	2, 924	2, 656	2, 924
	単位あたりコスト(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/人 千円/	0.3	0. 2 0	0. 2 0	0. 2			0. 3 0
- 1										

様式1-2 **事務事業名 No. 366 青少**年補導員活動事業

2		この事業の必要性は薄れて	■ 得られ	ている		補導活動口	₽、E	立った	問題がないため
2評価		いませんか。十分な成果が	■ 19:54	0.00	理由				
Ш		得られていますか?	│ □ 得られ	ていない					
C	Ы				青少年の	非行、犯罪	や被	害者にフ	なることの防止のため
HEC	的	に伴い、対象を見直す(拡	□ ある 	 その理由					
C	妥业	大・縮小)必要はありませ んか?	■ ない	CW-ZH					
ĸ	妥当性				###お白:	ᆂᄼ	左岩	道江乱:	* 宇恢してもころ
		事業進展等による環境変化	■ ある		地域で日	土町に月少	* 十 作用	等/13到1	を実施してもらう
		に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込)		その理由					
		必要はありませんか?	□ない						
		今以上に事業の成果を向上						・ル隊に	青少年補導についても担ってもらうこ
		させる方法を記入して下さ		とができ	きるか検討				
		い。	内容						
		※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか?							
	有効性			今後検討	けする				
	性	目的達成状況	内容	, , , ,					
	H			□早問╭	の一部委託	f 口民!	問へσ	全部委	
		市関与の必要性	 内 容	口指定管	理	■補助		負担金	
		(実施手法)	r; 	地域で(の活動に移	行			
		 事務事業の統廃合により、		自主防犯	ロパトロー	ル隊に青り	∕年補	導につ	いても担ってもらうことができるか検
		事業の効率化を図り、成果		討					
		を向上させる方法を記入し	内 容 						
	効	て下さい。		A T-0 F			.,	1 /d 11 5	A 4.7
	率性	現状より事業費・人件費を		令和2年 	度から身分	う変更のた	め、.	人件資源	以各員
	1-	削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部	 内 容						
		委託、従事時間の削減等は	'', ''						
		できないか?) 							
	\mathcal{A}	受益者負担はありますか?	□ある		現状で適正	:	なし	•	
	平性	また、受益者負担割合は適	■ ない		検討が必要	内容			
	性	正ですか?	│ □ 受益者	ずがいない					
 3			描道	旨の支齢	化が進んで		I		 若年の方を推薦してもらうよう働き
	事:	業実施上の課題、住	THI CT	貝の同断	心が進ん(20.00			石牛の力を推薦してもらりより働き かける。
革		・議会等からの意見 意	見					対応策	
改革改善案		対応策							
案	R3:	年度の事業計画は前	街頭	補導活動				変更	活動の一部を縮小。
Α	年	度から変更・追加は 前st	F度					· ·	
C		るか				1 =		追加	
I	今	後の事業・コスト・成果	の方向性						、改革・改善案
0 N		□ 拡大							業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 が懸念される中、限られた補導員
'`		□ 改善				の数では	は補導	活動に	限界があり、地域と学校が連携す
		■ 現状約 □ 縮小	推持						。学校行事・学校の児童生徒の生 らの情報提供なしには補導活動の
		□統合				質的向上	よは困	- 性関ル	とから、円滑で充実した活動を実
		□ 完了	<i>(</i> + .L			施するた	こめに	、合同	会議での密な情報交換や、メール
		<u>□ 廃止・</u> ストの方向性	' 1木止			」配信等の ■ることか	ノ芯井 ヾ必要	ここより	補導員や地域住民に情報提供をす
		↑ 増加] "	حر ہے۔		
	成:	果の方向性 → 維持							

1	事務事業名	No.	367		相談事業					
多	この事務事業	<u>政策</u>			子どもを産み		<u>が豊かな心を</u>	はぐくむまた	<u>5</u>	
务	の位置	施策	Ę	心豊かな	:子どもを育 ⁻	てよう				
₽Į		基本	事業	青少年健	全育成					
Ě [主管課名		行政調	5		課長名	岡田 高	行		
ס	この事務事業の開	始時	·期	昭和57年	度から	事務区分	♪ □法定受	· · · · · · · ·	■ 自治事務	
	この事務事業の根				心の電話相談					
₽.	事業の概要		<u> </u>				湿とこの事系	& 重業を行う	根拠または理	l由
		,, , , ,	# /= L-	7 LI A (77 14 14 1	4 14 44					
>	少子化、核家族								実施し、悩み	・を抱える
_	電話や情報端末					青少年	や保護者空の	り相談に対応	する。	
١	らの電子機器は									
1	正しい方向へ導					◎電話	.相談:毎週J	上曜日(祝日)	及び年末年始	を除く)
をプ	少年やその保護	者の	凶みをな	りしでも解消⁻	するため、心	の正午	·~午後4時ま	で		
Ķ	の電話相談員が	電話	こよる化	頂聴を行う。		◎相談	員:5名(1E	31名 ローテ	ーションで	実施)
5							交換:年4回			
٦l	「SDGsの」	取り	組み: 4	1 I		"""		, ,	-,	
ŀ				電話 相談	:毎週土曜日		年ま年始を除	と() の正年/	から年後/1時日	で
	R2年度に実施した	日仕	65.45		: 毎週工曜日 5人 ローテ-				プロー 1を4mg a	`
					ナウィルス感				美国粉末2回に	- 満さして
	事業の方法、手順	し、抽	保 -刈		ナワイル人窓	2条加入防止	のため、他的	(貝の王体会)	親凹釵を2凹い	- 減りし(
	る成果等			行った。						
	事務事業を取り巻	くり	況は追	去と比べ変ん	化しているか	\	(1)活動指標	(事務事業(の活動量を表	す指標)
ľ		りり巻	く揺培	が複雑化して	いる			名称		単位
		、ノセ	、垛坑	~ IXAEID C C	. • · · · •	-	1) 相談日開		•	
	変 化						<u>D 作政口册</u> 2)	以口刄		-
	内容					1	5 /			
ŀ										
	対象(この事業の	対象.	、範囲。	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大き	きさを表す指	i標)
ľ	20歳未満の青少年							名称		単位
	みよし市民						1) 20歳まで		<u> </u>	- <u>#</u>
	みよし川氏									世帯
H					th file		2 市内世帯		B 1 - 1 11-	
	目的(この事業によ	って.	上記対象	えをどのような	状態にしたい	のか)	(3)成果指標	(目的の達用	成度を示す指	i標)
	青少年・保護者の		が相談し	こより軽減. 1	解消されるよ	うにする	Т	名称		単位
		1007	J IDIXI	- 0 7 +± 1/2 ()	7717 6 10 0 00		1) 相談件数	14 10	•	— <u> </u>
						1	2)			- 11
h	公田/L仏甘士市 :	# A-	ᆂᅋ					用比攝 / L /	上甘士市坐不	· 中 华 /
	結果(上位基本事						(4) 桁条の成		立基本事業の	
	心身ともに健全に	成長	してもり	らう				<u>名称</u>	1	単位
							① 子ども会:			%
							2 成人式へ	の出席率		%
	事務事業の各種指	樗σ	実績と	見込みが日	堙					
ŀ		Т		H31年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	 R6年度
	指標 🥄 年度	i	单位	実績値	RZ年度 計画値	KZ平及 実績値	いい十尺	114十段	Ⅳ十尺	
ŀ		(1)		天根	6 I (B) 1(B		計画店		日播店	日塘店!
	(1)の			47			計画値	目標値	目標値 50	目標値 50
-			日	47	50	天 積恒 49	計画値 50		目標値 50	目標値 50
	活動指標	2			50	49	50	目標値 50	50	50
	<u>活動指標</u> (2)の	<u>2</u>	人	13, 266	50 13, 266	12, 903	50 12, 903	目標値 50 12, 903	50 12, 903	50 12, 903
	<u>活動指標</u> (2)の 対象指標	(2) (2)	人世帯	13, 266 23, 234	13, 266 23, 234	12, 903 24, 843	12, 903 24, 843	目標値 50 12,903 24,843	12, 903 24, 843	12, 903 24, 843
-	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の	② ① ② ①	人	13, 266	50 13, 266	12, 903	50 12, 903	目標値 50 12, 903	50 12, 903	50 12, 903
-	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標	② ① ② ① ②	人 世帯 件	13, 266 23, 234 429	13, 266 23, 234 429	12, 903 24, 843 467	12, 903 24, 843 467	目標値 50 12,903 24,843 467	12, 903 24, 843 467	12, 903 24, 843 467
-	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の		人 世帯 件 %	13, 266 23, 234 429 79	13, 266 23, 234 429 80	12, 903 24, 843 467 74. 2	50 12, 903 24, 843 467 80	目標値 50 12,903 24,843 467 80	50 12, 903 24, 843 467 80	12, 903 24, 843 467 80
-	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標		人 世帯 件 %	13, 266 23, 234 429 79 79, 5	50 13, 266 23, 234 429 80 80	12, 903 24, 843 467	50 12, 903 24, 843 467 80	目標値 50 12, 903 24, 843 467 80 80	12, 903 24, 843 467 80 80	12, 903 24, 843 467 80 80
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の		人 世帯 件 %	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言	13, 266 23, 234 429 80 80	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9	12, 903 24, 843 467 80 80	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10	50 12,903 24,843 467 80 80 項 05	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目		人 世帯 件 % %	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度	13, 266 23, 234 429 80 80 R2年度	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9	50 12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10 R4年度	50 12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標		人 世帯 件 % % 会計 年度	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会計 H31年度 実績値	13, 266 23, 234 429 80 80 1 R2年度 計画値	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10	50 12,903 24,843 467 80 80 項 05	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目		人 世帯 件 % %	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度	13, 266 23, 234 429 80 80 R2年度	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9	50 12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10 R4年度	50 12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人 世帯 件 % 会計 年度	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会計 H31年度 実績値	13, 266 23, 234 429 80 80 1 R2年度 計画値	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値	目標値 50 12, 903 24, 843 467 80 80 款 10 R4年度 目標値	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財 国庫支出会	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人 世帯 件 % 会計 年 単位 千円	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会記 H31年度 実績値 455 0	13, 266 23, 234 429 80 80 + R2年度 計画値 681	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10 R4年度 目標値 681	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 681	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 681
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 事業費(決算とは予算額) 財源に対します。	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人 世帯 外 会計 年 単 千 千 千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0	13, 266 23, 234 429 80 80 80 † R2年度 計画值 681 0	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款 10 R4年度 目標値 681 0	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 681 0	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 681 0
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 事業費(決算人は予算額) リースの	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人 世 件 % % 計 年 単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0	13, 266 23, 234 429 80 80 + R2年度 計画値 681 0	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 0 0	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0	目標値 50	50 12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 681 0	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 681 0
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 関東支出金 サースト のの はませる。 は、対象を対象が表現。 は、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人世 件 % 分 計 年 単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会記 H31年度 実績値 455 0 0	13, 266 23, 234 429 80 80 80 † R2年度 計画值 681 0 0	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0 0	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 第10 R4年度 目標値 681 0 0	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 0 0	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源内訳 中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、	(2) (1) (2) (1) (2) (2)	人世件 % % 新年 第 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0 0 0	13, 266 23, 234 429 80 80 + R2年度 計画值 681 0 0 0	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0 0	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款	12, 903 24, 843 467 80 80 項	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 681 0 0 0
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源内訳 関盟支出債 世での の は関係 を関する は、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5)	人世件 % % 年 単千千千千千千千千千千千千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0 0 0 455 415	13, 266 23, 234 429 80 80 80 † R2年度 計画值 681 0 0 0 0 681 415	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 0 502 415	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 688 415	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 10 R4年度 目標値 681 0 0 0 0 681 415	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 0 0 0 0 681 415	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 681 0 0 0 0 681 415
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果で 成果結構 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 事業費(決算又は予算額) 上の他 に表する。 「大きない」では、一の表す。 「大きない」では、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	② ① ② ① ① ② ② A A	人带件%% 年 単千千千千千時間×人	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0 0 0 455 415	13, 266 23, 234 429 80 80 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 502 415 125 × 1	12, 903 24, 843 467 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 688 415 125 × 1	目標値 12, 903 24, 843 467 80 80 款	50 12, 903 24, 843 467 80 80 1 05 R5年度 目標値 681 0 0 0 0 681 415 125 × 1	12, 903 24, 843 467 80 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0 0 0 681 415 125 × 1
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源の は関連を支出します。 は関連を支出します。 は関連を対象の は関連を表現に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に	② ① ② ① ① ② ② A A	人世件 %%計 年 単千千千千時間千千千年間千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会記 H31年度 実績値 455 0 0 0 0 455 415 125 × 1	13, 266 23, 234 429 80 80 + R2年度 計画值 681 0 0 0 0 681 415 125 × 1	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 0 415 125 × 1	12, 903 24, 843 467 80 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 415 125 × 1	日標値	12, 903 24, 843 467 80 80 項	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源の中ででは、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二のの表別では、第二の表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、	② ① ② ① ① ② ② ② A A 文 * * * * * * * * * * * * * * * * *	人帯 %%計 年 単千千千千門千千千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会記 H31年度 実績値 455 0 0 0 0 455 415 125 × 1	13, 266 23, 234 429 80 80 80 † R2年度 計画值 681 0 0 0 0 681 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 80 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 415 125 × 1	日標値	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源の表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表	② ① ② ① ② ① ② ② ② ② 】 ② 】 ② 】 ② 】 ② 】 ②	人世件 %%計 年 単千千千千時間千千千年間千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会言 H31年度 実績値 455 0 0 0 0 455 415 125 × 1 0 22 892	13, 266 23, 234 429 80 80 *** *** *** *** *** *** *** *** *	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 502 415 125 × 1 0 22	50 12, 903 24, 843 467 80 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 688 415 125 × 1 0 22 1, 125	目標値 50 12,903 24,843 467 80 80 款	50 12, 903 24, 843 467 80 80 1 05 R5年度 目標値 681 0 0 0 681 415 125 × 1 0 22 1, 118	12, 903 24, 843 467 80 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22 1, 118
	活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の標果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源の表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表	② ① ② ① ① ② ② ② A A 文 * * * * * * * * * * * * * * * * *	人帯 %%計 年 単千千千千門千千千	13, 266 23, 234 429 79 79. 5 01 一般会記 H31年度 実績値 455 0 0 0 0 455 415 125 × 1	13, 266 23, 234 429 80 80 80 † R2年度 計画值 681 0 0 0 0 681 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 74. 2 72. 9 R2年度 実績値 502 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 80 80 80 R3年度 計画値 688 0 0 0 0 415 125 × 1	日標値	12, 903 24, 843 467 80 80 項 05 R5年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22	12, 903 24, 843 467 80 80 目 02 R6年度 目標値 0 0 0 0 415 125 × 1 0 22

様式1-2 **事務事業名 No. 367 心の電話相談事業**

2		この事業の必要性は薄れて	■ 得に	 られている		前年より村	目談件	数が9%	程度増加しているから
評		いませんか。十分な成果が		310 60.0	理由				
価		得られていますか?		られていない					
C	的妥当	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	□ ある ■ ない	その理由	解消する	非行を未然 目的のため		ハだり、	家庭内での青少年・保護者の悩みを
	性	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	■ ある	その理由	を変える	相談員やス			ンセラーの配置を充実することで体制
	有	今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか?	内容	24		≣業を周知す	ける。		
	効性	目的達成状況	内容		きている				
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	一口指定例	への一部委 管理			全部委託 負担金	
	効	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容		容を鑑みる	ると、統廃台	言によ	る事業の	の効率化又は成果の向上は難しい。
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容	費削減に	年度から <i>0</i> は難しい。)身分変更に	こより	、報酬	が大幅に減ったため、これ以上の人件
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	□ ある ■ ない □ 受益		現状で適፤ 検討が必要		なし		
3改革改善案	民	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策		題を認識し がいると考				対応策	高齢の相談員が多いため、SNS関連の現状や学校事情等の情報提供をする。
AC	年	年度の事業計画は前 度から変更・追加は 前 るか	有 前年度	1談員:4人	(内女性4	名)		変 更 ・ 追 加	相談員:5人(内女性4名、男性1名)
T I	今	後の事業・コスト・成場	果の方向性	生		今後の事	業の	方向性	、改革・改善案
o									業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容
Ν		□ 縮小 □ 統合 □ 完 ī	售 犬維持 \ }			くの相談	炎が寄 きない	せられ が、同	活相談件数は467件以上に及び、多 ている。相談者が匿名であるため じ人が何度も同じ内容の相談を寄 る。
	7	□ 廃』 ストの方向性	水正						
		→ 維持							
	成	果の方向性 → 維持	*						

1		No. 政策	368		全育成推進版 マどもを産み		が豊かな心を	はぐくむます	5				
事务	この事務事業 の位置	施策		心豊かな	子どもを育		200 200 0 200 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						
事業	. —	基本等	<u>事業</u> 行政課	──│青少年健 !	全育成	課長名							
り	この事務事業の開			昭和57	年度	事務区分			■自治事務	i			
見犬	この事務事業の根	拠法*	<u>令</u>	無し		l =							
^	事業の概要		b 14		 		けいとこの事を						
0	みよし市青少年(健全育成事業(少						∈を取り巻くℜ ○犯罪に巻き返						
۵	に取り組む運動の	か該当	土版 i啓発領	ョグヰのチチ1] 等) を実施する	・版音的エ っとともに、		が非に合され :青少年を、5						
V	地区青少年健全						びくりが必要で						
タゾ	する。	ı											
<u>ک</u>	[SDGs:10, 11, 16]												
5													
ı				例年は青	小年健全育局		の開催、少年	の主張みより	1.市大会 青	少年の非行			
	R2年度に実施した	具体的	内な	問題に取	り組む運動、	青少年によ	い本をすすめ	る運動、地口	区青少年健全	育成推進協			
	事業の方法、手順	、指標	票に対				少年健全育成						
	る成果等			業の実施 変えて行		のか新型コ	ロナウイルス	、悠采払入防」	正のため甲止	しにり形を			
j	事務事業を取り巻	く状況	況は過			١	(1)活動指標	(事務事業(の活動量を表	まず指標)			
ľ	家庭を取り	巻くま	環境の	変化、情報化	によるスマ-	ートフォン		<u>名称</u>		単位			
							1 街頭啓発			人			
	内 容 、 育少年か ていない。	(健全)	こ育戍	できる環境で	くりの里安!!	Eは変化し <u>(</u>	2 少年の主	<u>張みよし巾ス</u>	会来場案内数	<u> </u>			
	Congos												
	対象(この事業の対	讨象、	範囲。	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大	きさを表す指	標)			
	みよし市内に在住、	、在学	としてし	いる18歳未満の	の青少年		2 1015 1 2	名称		単位			
							① 18歳未満 ② 会員数	の人口		人区			
ı	目的(この事業によ	って上	記対象	きをどのような	状態にしたい			(目的の達用	或度を示す指				
	青少年健全育成事							名称		単位			
	してもらう。また、	、市民	にも青	青少年健全育	成の意識を高			ントの総参加]者数	人			
ı	う。 生用 / ト仕ま士事業	* 小辛	- जि \			(2 街頭啓発 (4) 結果のは		≒甘士亩 粪σ	セット			
	結果(上位基本事業 心身ともに健全に)			<u> </u>			(4) 和米の队	条相標(<u>工</u>) 名称	立基本事業の				
	心分とりに姓王に	火灰し	,	<i>,</i>		(1 青少年補	<u> 1970</u> 導員の巡回箇		<u> </u>			
ı		-			_		2 成人式へ	の出席率		%			
Į	事務事業の各種指	標の	実績と			D0 /= /=	D0 /- /-	D4 /= 	DC 6	DC for the			
	指標 🥄 年度	単	i位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
ľ	(1) Ø	1	人	145	100	0	100	100	100	100			
-	<u>活動指標</u> (2) の	2 (1)	人	373 11, 965	380 12, 000	0 12, 102	380 12, 150	380 12, 200	380 12, 250	380 12, 300			
	(2)の 対象指標	2	<u>人</u> 区	25	12, 000	12, 10 <u>2</u> 25		12, 200		12, 300			
ļ	(3) の	11	人	933	950	0	1, 000	1, 050	1, 100	1, 150			
-	成果指標		<u>セット</u>	2, 000	2, 000	0 162	2, 000 162	2, 000	2, 000 162	2, 000			
	(4)の結果の 成果指標	1 2	<u>箇所</u> %	162 79. 5	162 80			162 85		162 85			
Į	予算費目		:計	01 一般会計	t			款 10	項 05	目 02			
	コスト		年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
ľ	事業費(決算又は予算額)		単位	4, 497	5, 371	1, 653	5, 117	5, 299	5, 299	5, 299			
			千円	0	0	0 0		0	0	0 0			
- 1	財団庫支出金			-	ΛI			· U		UI			
	財 <u>県支出金</u> 源 地方信		千円	0	0	0		0		0			
	財 源 地方債 内 その他		出出出	0	0	0	0	0	0	0			
•	財 県支出金 地方債 その他 一般財源			0 0 0 0 4, 497	0 0 5, 371	0 0 1, 653	0 0 5, 117	0 0 5, 299	0 0 5, 299	0 5, 299			
_	照支出金 地方債 その他 一般財源 人件費B			0 0 0 4, 497 1, 278. 2	0 0 5, 371 1, 278. 2	0 0 1, 653 1, 278. 2	0 0 5, 117 1, 278. 2	0 0 5, 299 1, 278. 2	0 0 5, 299 1, 278. 2	0 5, 299 1, 278. 2			
	期 県支出金 地方債 その他 一般財源 人件費B 正職員従事時間× 正職員以外の人件	人数時	千千千千間千	0 0 4, 497 1, 278. 2 385 × 1	0 0 5, 371 1, 278. 2 385 × 1	0 0 1, 653 1, 278. 2 385 × 1	0 0 5, 117 1, 278. 2 385 × 1	0 0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1	0 0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1	0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0			
-	照 県支出金 地方債 その他 一般財源 人件費 B 正職員従事時間× 正職員以外の人件 その他の費用 C	人数甲	千千千千間千千 田田田田×田田	0 0 4, 497 1, 278. 2 385 × 1 0 114	0 0 5, 371 1, 278. 2 385 × 1 0 114	0 1, 653 1, 278. 2 385 × 1 0	0 0 5, 117 1, 278. 2 385 × 1 0 114	0 0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0 114	0 0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0 114	0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0			
-	財	人数 F	千千千千間千	0 0 4, 497 1, 278. 2 385 × 1	0 0 5, 371 1, 278. 2 385 × 1	0 0 1, 653 1, 278. 2 385 × 1	0 5, 117 1, 278. 2 385 × 1 0 114 6, 509. 2	0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0 114 6, 691. 2	0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0 114 6, 691. 2	0 5, 299 1, 278. 2 385 × 1 0			

2 ≅⊽		この事業の必要性は薄れて	■ 得られ	ている		みよし市の 行う必要が	D将来を担う青少年の健全な育成のために、事業を パネス
2評価		いませんか。十分な成果が 得られていますか?	□ 得られ	ていない	理由	117必安ん	ກ່ອວ
СН	目	事業進展等による環境変化	 □ ある		青少年を	対象として	いるため
HECK	的妥	に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ	■ない	その理由			
K	妥当性	んか?	_		青少年0	の健全な育成	を目的とするこには変わりはない
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す(目	□ある	 その理由			
		的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	■ ない				
		今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ		などを流			こめに、協力を呼びかける団体を増やしたり、ANA ご青少年に訴える等、効果的な啓発方法をとる必要
		い。 ※(3)の成果指標を向上させる	内容	がある			
	有.	ことはできますか?					
	効 性	目的達成状況	内容				こは分かりにくいが、イベントへの参加者も多く、 F達成していると考えられる
		市関与の必要性	内容	口指定管		■補具	間への全部委託 助金・負担金助成 ■市の直営
		(実施手法)	r; u	ベント等	等を開催	していく	►団体等に補助金を引き続き助成するとともに、イ
		事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果		類似事第 	業が無い 7	ため統合でき	きない
		を向上させる方法を記入し て下さい。	内容				
	効. 率性	現状より事業費・人件費を		イベン	トや活動の	の内容を精査	至し、効率的な事業運営に取り組む
	忹	削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部	内容				
		委託、従事時間の削減等は できないか?)					
	公	受益者負担はありますか?	□ ある		現状で適	Œ	直接的な受益者はなし
	伞性	また、受益者負担割合は適正ですか?	□ない		検討が必	要内容	
	IT	10,70		がいない			
3 改	事	業実施上の課題、住	って	青少年の		!域が一体と に取り組む!	必
改革改善案	民と	・議会等からの意見 意 対応策	見 要が	ある。			対応策
香案	R3:					染拡大防止	
A	年	度から変更・追加は 前年 るか		行いなか 会の開催		:健全育成推: :。	進 ^ゑ ・ ^ヱ 様・同規模で実施。 追 加
T		 後の事業・コスト・成果(の方向性			今後の事	 §業の方向性、改革・改善案
O N		□拡大					らの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 建全育成事業を実施するにあたり地域の自主団
		□ 改善 ■ 現状糸	推持			体との協	品力が重要になるがその接点が無いことや、別 同に行う事業のため事務が執りづらく、事業を
		□ 縮小 □ 統合					する等改善する必要がある。
		□ 完了 □ 廃止・	休止				
	□.	ストの方向性 → 維持	··· 				
	成:	果の方向性 → 維持					

				T					記入し	- 1- 1-	<u>03+12/70011</u>
1 L	事務事業名	No.	369	成人の日	<u>事業</u>						
ŧ١	= 75 = 416	政策	5	安心して	子どもを産み	▶育て、誰も	が豊かな	心を	はぐくむまれ	5	
1	この事務事業	施策			:子どもを育						
기	の位置					(&)					
事			事業	青少年健	主育						
	主管課名	<u>教</u> 育	行政課	<u> </u>		課長名	岡田	<u>高</u> 彳	<u> </u>		
	この事務事業の関			昭和34年		事務区			託事務	■ 自治事務	ξ —
_ =					成人式実行委				. н о т' 1Л	一口心乎仍	
ı.	この事務事業の村	对处江	T	一」のよし巾	<u> </u>			_			
ᄬ	事業の概要					現在の地	況とこの	り事務	8事業を行う	根拠または理	曲
	•	= + •	노드 나는 ! ~	ヒ知さししょ	- 応井で石						
>	「二十歳」を迎									、社会参加に	- 対 9 る目
_	い手としての自	覚を	寺ち、ネ	t会人としてi	責任ある行動	覚と意	識の高揚	易を図	る。		
٦.	がとれるよう「									を早い時期に	まらって
										の必要性があ	
7	を開催する。市					wa/	労心から	ョし・/こ	-似尹未枢税(ツ必安性かめ) බං
文	等について、調	宜研:	光、成人	く式の企画及で	ひ連宮などを						
ŗ	行う。										ļ
śΙ	[SDGs:11]										
5	[0040.11]										
7											ļ
											ļ
H				4年14	表と各中学校	うちょう	こかて中	: /4-禾	日本の主座に	- FU = #7.14	国 公 人 仕 左
	D0 							:11安	貝云の土作り	- よッ二奸公	
	R2年度に実施した				部制の成人の	リロ式典を開	惟した。				
	事業の方法、手順	〔、指	標に対	す 実行委員	会:5回						
	る成果等	. , ,,,									
	の水木寸										
	事務事業を取り着	よくお	況は過	去と比べ変化	比しているか	\	(1)活動:	指煙	(事務事業)	の活動量を表	(す指標)
Į							(1/7日初)	山市			
				開催に対する	期待感に変化	こがないた			名 <u>称</u>	<u> </u>	単位
	☆ ル め継続して	宝宝施	į			1	1) 式典	案内(<u> </u>		枚
	後 10	- / ///	•						<u>クといめ</u> D開催数		
	内容					<u> </u>	4/1 安貝	女守(7.刑性奴		<u> </u>
	· · · -										
þ	対免 / = の声楽の	計色	华田	L +> Z 1	1)		(2) 計畫	七十二	(社会の士・	キャカキナル	stm /
	対象(この事業の	刈家.	、軋囲(こなる人、物	17		(乙) 对家	扫倧	(対象の人	きさを表す指	1信/
ľ	新成人								名称		単位
	かいグノへ					H.	1 +r	1 /-			
									<u> 市内在住者)</u>		<u> </u>
							<u>2)</u> 新成.	<u>人</u> _(ī	市外在住者)		人
Ī	/ 	_									
	日的(この事業によ	って	L함하수	カンのトラか	好能にしたい	のかり	(3) 成甲:	共一		む	(種)
	目的(この事業によ					のか)	(3) 成果	指標		成度を示す指	* * *
						のか)	(3) 成果	指標	(目的の達用		* * *
	目的(この事業によ 成人として、社会								(目的の達用 名称		単位
						(① 成人:		(目的の達用		* * *
						(① 成人: 2)	式にと	(目的の達 原 名称 出席した新成	人の出席率	<u>単位</u> %
ĺ	成人として、社会	の一!	員として			(① 成人: 2)	式にと	(目的の達 原 名称 出席した新成	人の出席率	<u>単位</u> %
	成人として、社会 結果(上位基本事	の一!	員として 意図)	ての自覚を持っ		(① 成人: 2)	式にと	(目的の達原 名称 出席した新成 果指標(上の	人の出席率 立基本事業の	単位 %)成果指標)
	成人として、社会	の一!	員として 意図)	ての自覚を持っ		(① 成人: ② (4)結果	式に の成!	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上低 名称	人の出席率 立基本事業の	<u>単位</u> %
	成人として、社会 結果(上位基本事	の一!	員として 意図)	ての自覚を持っ		(① 成人: ② (4)結果	式に の成!	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上低 名称	人の出席率 立基本事業の	単位 %)成果指標)
	成人として、社会 結果(上位基本事	の一!	員として 意図)	ての自覚を持っ		(1)成人 2) (4)結果 1)成人	式に の成!	(目的の達原 名称 出席した新成 果指標(上の	人の出席率 立基本事業の	単位 %)成果指標) 単位
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に	の一 業の 成長	員として 意図) してもら	ての自覚を持っ	ってもらう	(① 成人: ② (4)結果	式に の成!	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上低 名称	人の出席率 立基本事業の	単位 %)成果指標) 単位
	成人として、社会 結果(上位基本事	の一 業の 成長	員として 意図) してもら	ての自覚を持っ	ってもらう	(1) 成人 2) (4) 結果 1) 成人	式に の成!	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上低 名称	人の出席率 立基本事業の	単位 %)成果指標) 単位
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指	の一 業の 成長 「標の	員として 意図) してもら	ての自覚を持っ うう : 見込及び目 材	ってもらう	()	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2)	式にb の成! 式への	(目的の達用 名称 出席した新成 果指標(上代 名称 の出席率	人の出席率 立基本事業の	単位 % D成果指標) 単位 %
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指	の一 業の 成長 「標の	員として 意図) してもら	での自覚を持っ うう : 見込及び目 材 「 H31年度	ってもらう 漂 R2年度	R2年度	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2)	式に の成 ! 式への	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率	人の出席率 立基本事業の R5年度	単位 % D成果指標) 単位 % R6年度
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種打 指標 \ 年度	の一 業 の : 成長 「標の 」	員として 意図) してもら 実績と	での自覚を持っ うう : 見込及び目标 H31年度 実績値	ってもらう 票 R2年度 計画値	R2年度 実績値	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2)	式に上 の成 ! 式への	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値	人の出席率 立基本事業の R5年度 目標値	単位 %)成果指標) 単位 % R6年度 目標値
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の	の一」 業の 成長 「標の 」 ①	員として 意図) してもら	での自覚を持っ うう : 見込及び目 材 「 H31年度	ってもらう 漂 R2年度	R2年度	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2)	式に の成 ! 式への	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率	人の出席率 立基本事業の R5年度	単位 % D成果指標) 単位 % R6年度
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の	の一」 業の 成長 「標の 」 ①	員として 意図) してもら 実績と	での自覚を持っ うう : 見込及び目标 H31年度 実績値	ってもらう 票 R2年度 計画値 932	R2年度 実績値	① 成人: ② (4)結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 変 直 891	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897	単位 %)成果指標) 単位 % R6年度 目標値
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標	の一 業の 減長 「標の」 」 1 2	意図) してもら シ実績と 単位 本	での自覚を持っ : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3	でもらう 標 R2年度 計画値 932 3	R2年度 実績値 872 5	① 成人: ② (4)結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 変 <u>891</u> 3	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3	単位 %)成果指標) 単位 % R6年度 目標値 901 3
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の	の一 業の 成長 「標の <u>」</u> (1) (2)	意図) してもら 単位 本回人	での自覚を持っ : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825	デ R2年度 計画値 932 3 852	R2年度 実績値 872 5787	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画值	式にと の成り 式への を を 891 3 811	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817	単位 96 96 96 86年度 目標値 901 3 821
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	ボルス (1) (2) (2) (2) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	意図) してもら シ実績と 単位 本	での自覚を持っ : 見込及び目を H31年度 実績値 896 3 825 71	デ R2年度 計画値 932 3 852 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画值	式(こと の成り 式への ま 1 891 3 811 80	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80	単位 96 96 96 96 R6年度 目標値 901 3 821 80
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	の一 業の 成長 「標の <u>」</u> (1) (2)	意図) してもら 単位 本回人	での自覚を持っ : 見込及び目を H31年度 実績値 896 3 825 71	デ R2年度 計画値 932 3 852	R2年度 実績値 872 5787	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画值	式にと の成り 式への を を 891 3 811	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817	単位 96 96 96 86年度 目標値 901 3 821
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の	の一 業の 成長 i標の ① ② ① ②	章 として 意図) しても 値 枚回人人	での自覚を持っ : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825	デ R2年度 計画値 932 3 852 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画值	式(こと の成り 式への を を 891 3 811 80	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80	単位 96 96 96 96 R6年度 目標値 901 3 821 80
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標	の一 業の 成長 「標の (1) (2) (2) (2) (2)	意図) してもら) 実績と 単位 枚回人人。	での自覚を持 : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式への 式への ま 1 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85	単位 96 96 96 901 80 80 85
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	の一 業の 成長 「標の ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	章 として 意図) しても 値 枚回人人	での自覚を持っ : 見込及び目を H31年度 実績値 896 3 825 71	デ R2年度 計画値 932 3 852 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式(こと の成り 式への を を 891 3 811 80	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80	単位 96 96 96 96 R6年度 目標値 901 3 821 80
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	の一 業の 成長 「標の (1) (2) (2) (2) (2)	意図) してもら) 実績と 単位 枚回人人。	での自覚を持 : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式への 式への ま 1 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85	単位 96 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動の標 (2)の 対象指標 (3)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の結果の 成果指標	の一 業の 成長 「標の (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	意図) してもう 単位枚回人人% %	での自覚を持 : 見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80	R2年度 実績値 872 5787 85	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式(こと の成り 式への 動 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85	単位 96 96 単位 96 R6年度 目標値 901 3 821 80 85
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 へ 年度 (1)の 活動的標 (2)の 対象指標 (3)の標 (4)の結果の 成果指標 予算費目	の一 業の 成長 「標の (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	意して 実 位 枚回人人% 計	での自覚を持 ・見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 79.5	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80	R2年度 実績値 872 5 787 72	① 成人: 2) (4) 結果 ① 成人: 2)	式(こと の成り 式への を を 1 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動の標 (2)の 対象指標 (3)の標 (3)の標 (4)の結果の 成果指標	の一 業の 成長 「標の (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	意図) してもう 単位枚回人人% %	での自覚を持一 ・見込及び目标 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 79.5 01 一般会計 H31年度	デ R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80	R2年度 実績値 872 5 787 72 72 R2年度	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 整 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 項 05 R5年度	単位 96 96 96 単位 96 87 87 88 88 88 88 88 88 88 88
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動の標 (2)の 対象指標 (3)の標 (3)の標 (4)の標 (4)の標果の 成果指標 (4)の無指果の 成果指標 3コスト	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	意して 実位 枚回人人% 計 度	での自覚を持 ・見込及び目 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 79.5 01 一般会計 H31年度 実績値	デ R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80	R2年度 実績値 872 5 72 72 R2年度 実績値	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 変 891 3 811 80 85 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 項 05 R5年度 目標値	単位 96 96 単位 96 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種指 指標 へ 年度 (1)の 活動的標 (2)の 対象指標 (3)の標 (4)の結果の 成果指標 予算費目	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	意して 実 位 枚回人人% 計	での自覚を持一 ・見込及び目标 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 79.5 01 一般会計 H31年度	デ R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80	R2年度 実績値 872 5 787 72 72 R2年度	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 整 891 3 811 80 85	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 項 05 R5年度	単位 96 96 96 単位 96 87 88 88 88 88 88 88 88 88 88
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種打 指標 (1)動指 (2)象指標 (3)の標 (3)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の無指果の 成果指標 ラ算目 コスト 事業費(決算又は予算額	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位 枚回人人% 計年単位	での自覚を持一 ・見込及び目標 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 01 一般会計 H31年度 実績値 1,955	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 + R2年度 計画値 5,423	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 6 6 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(目的の達成 名称成 出席した新成 果指標(上位 の出席率 R4年度値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度値 10 R4年度値 3,074	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 項 05 R5年度 目標値 3,074	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健全に 事務事業の各種打 指標 (1)の 活動の標 (2)象指の 対象指標 (3)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 大成果の 成果指標 ラウスト 事業費(決算又は予算額) コスト 事業費(決算文は予算額)	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位 枚回人人%計 度位円	での自覚を持一 ・見込及び目標 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 01 一般会計 H31年度 実績値 1,955 0	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 R2年度 計画値 5,423 0	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 R2年度 実績値 4, 241	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 変 891 3 811 80 85 85 85 6 172 0	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 項 05 R5年度 目標値 3,074	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 目 02 R6年度 目標値 3,074 0
	成人として、社会 結果(上位基本事 心身ともに健生を 事務事業の各種打 指標(1)動指の標 (3)動指の標 (3)象指の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (5)の標 (5)の標 (6)の標 (7)のに表す。 (7)のに表す。 (8)のに表す。 (9)のに表す。 (9)のに表す。 (1)のに表す。 (1)のに表す。 (1)のに表す。 (1)のに表す。 (2)のに表す。 (3)のに表す。 (4)のに表す。 (4)のに表す。 (5)のに表す。 (5)のに表す。 (6)のに表す。 (7)の	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位を 枚回人人 総計 年単千千年 は 位円円	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 R2年度 計画値 5,423 0 0	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 R2年度 実績値 4, 241	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 整 891 3 811 80 85 85 85 0 0	(目的の達用 名称 出席した新成 果指標(上位 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 項 05 R5年度 目標値 3,074 0	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 目 02 R6年度 目標値 3,074 0
	成人として、社会 結果(上位基本事 ・ 上位基本事 ・ お事業の各種 ・ お事業の各種 ・ おいますが、 のいますが、 のいますが、 ののでは、	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位 枚回人人%計 度位円	での自覚を持一 ・見込及び目標 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 01 一般会計 H31年度 実績値 1,955 0	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 R2年度 計画値 5,423 0	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 R2年度 実績値 4, 241	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への 変 891 3 811 80 85 85 85 6 172 0	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 項 05 R5年度 目標値 3,074	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 目 02 R6年度 目標値 3,074 0
	成人として、社会 結果(上位基本事 お身ともに健全に 事務事業の各種 指標(1)動物では、 (1)動物では、 (1)動物では、 (2)象の指標では、 (3)第一の標準では、 (4)の無には、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (4)の果は、 (5)のよりには、 (5)のよりには、 (5)のよりには、 (6)のよりには、	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位 枚回人人% 計年 単千千千年 は 中田田田	での自覚を持一 ・見込及び目標 H31年度 実績値 896 3 825 71 79.5 01 一般会計 H31年度 実績値 1,955 0 0	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 FR2年度 計画値 5,423 0 0 0	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 R2年度 実績値 4, 241	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值	式に の成り 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0	(目的の達用 名称 出席した新成 果指標(上位 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 95 R5年度 目標値 3,074 0 0 0	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 目 02 R6年度 目標値 3,074 0
	成人として、社会 結果(上位基健 事務事業の各種 指標(1)動物では、 対(3)集結 では、 が(4)の集のが、 が(3)集結指標では、 が(4)の集団のでは、 が(4)の集団のに、 が(4)のまでは、 が(4	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意して実位を 本国人人の 計年 単千千千千年 は は の の も の と の の の の の の の の の の の の の の の	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 FR2年度 計画値 5,423 0 0 0 0	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241	1)成人: 2) (4)結果 1)成人: 2) R3年原計画值 3,	式に の成り 式への 変 891 31 801 85 85 85 000 000 000	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 9 85 項 05 R5年度 目標値 3,074 0 0 0	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 目 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0
	成人として、社会 結果(上位基健 事務標 (1)動1の標 (3)集のの果理 (4)の果理 (4)の果理 (4)の果語・ (4)の果理 (4)の果理 (4)の果理 (5)の果には、 (4)の果理 (4)の果理 (5)の果には、 (5)の果には、 (6)の果理 (7)の果には、 (7)の果には、 (8)の果には、 (8)の果には、 (9)の果には、 (9)の果には、 (1)の果には、 (1)の果	の一 業の 成長 「一 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4)	意し 実位 枚回人人% 計年 単千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 FR2年度 計画値 5,423 0 0 0 0 5,423	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241	1)成人: 2) (4)結果 1)成人: 2) R3年原計画值 3,	式には の成り 式への 整 を 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 9 05 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074	単位 96 96 96 単位 96 87 88 87 88 88 88 85 85 85 85 85 85 85
	成人として、社会 結果(上位基健 事務標 (1)動1の指の標 対(3)集1の果目 する。 (4)の果目 する。 (4)の果目 する。 (4)の果は下支出債・大変の果にです。 (4)の果はです。 (4)の果はです。 (4)の果はです。 (4)の果はです。 (4)の果はできる。 (4)の果はできる。 (4)の果にできる。	ボスト (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	意し 実 位 枚回人人% 計 年 単千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 5,423 1,992	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 R2年度 実績値 4, 241 0 0 0 0 1, 992	① 成人: ② (4) 結果 ① 成人: ② R3年原計画值 3 3 3 1 1	式(ことの) 成り 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172 992	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 1,992	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992	単位 96 96 単位 96 86年度 目標値 901 3 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992
	成人として、社会 結果(上位基健 事務標 (1)動1の標 (3)集のの果理 (4)の果理 (4)の果理 (4)の果語・ (4)の果理 (4)の果理 (4)の果理 (5)の果には、 (4)の果理 (4)の果理 (5)の果には、 (5)の果には、 (6)の果理 (7)の果には、 (7)の果には、 (8)の果には、 (8)の果には、 (9)の果には、 (9)の果には、 (1)の果には、 (1)の果	ボスト (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	意し 実位 枚回人人% 計年 単千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	でもらう 禁 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 FR2年度 計画値 5,423 0 0 0 0 5,423	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241	1)成人: 2) (4)結果 1)成人: 2) R3年原計画值 3,	式(ことの) 成り 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172 992	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 9 05 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074	単位 96 96 96 単位 96 87 88 87 88 88 88 85 85 85 85 85 85 85
	成人として、社会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の一 業の 様 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	意し 実位 枚回人人% 計年 単千千千千時と は 中田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 5,423 1,992 600 × 1	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241 1, 992 600 × 1	1)成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画信 3。 3。 1,600 x	式に の成場 式への 要値 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172 0 0 0 172 992 × 1	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 か出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 ま 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 1,992 600 × 1	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1	単位 96 96 96 R6年度 目標値 901 30 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1
	成人として、社会 結果(上位基健 事務 標 (1)動(2)象(3) 指の 標 の 果	の一 業の 様 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	章 意し 実 位 枚回人人% % 計 年 単千千千千時十 と は 大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 0 5,423 1,992 600 × 1	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241 0, 0, 0 0, 0, 0 1, 992 600 × 1	1)成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画信 3, 1,600 x	式に の成場 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172 992 × 1	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 ま 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 1,992 600 × 1 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0	単位 96 96 96 R6年度 目標値 901 30 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0
	成人として、社会 ・	の一 業成 標の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	意し 実位 枚回人人% 新年 単千千千千晴千千日間千千日 と 図 て 積 位 枚回人人% の 計度 位円円円円円円入円円	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 0 5,423 1,992 600 × 1 0 204	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241 1, 992 600 × 1	1)成人: 2) (4)結果 1)成人: 2) R3年原計画值 3, 600 >	式には の成り 式への ま 1 891 3 811 80 85 85 85 85 0 0 0 0 172 992 × 1 0 204	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 項 05 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 1,992 600 × 1 0 204	単位 96 96 96 86年度 目標値 901 33 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0 0
	成人として、社会 ・	の一 業成 標の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	章 意し 実 位 枚回人人% % 計 年 単千千千千時十 と は 大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 0 5,423 1,992 600 × 1	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241 0, 0, 0 0, 0, 0 1, 992 600 × 1	1)成人: 2) (4)結果 1)成人: 2) R3年原計画值 3, 600 >	式に の成場 式への まき 891 3 811 80 85 85 85 0 0 0 0 172 992 × 1	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 ま 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 1,992 600 × 1 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0	単位 96 96 PR6年度 目標値 901 3 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0 0
	成人として、社会 結果(上位基健 事務 標 (1)動(2)象(3) 指の 標 の 果	の一 業成 標の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	意し 実位 枚回人人% 新年 単千千千千晴千千日間千千日 と 図 て 積 位 枚回人人% の 計度 位円円円円円円入円円	での自覚を持一 (の自覚を (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自 (の自	票 R2年度 計画値 932 3 852 80 80 80 80 80 0 0 0 0 0 0 5,423 1,992 600 × 1 0 204	R2年度 実績値 872 5 787 85 72 72 R2年度 実績値 4, 241 1, 992 600 × 1	1)成人: 2) (4)結果 ① 成人: 2) R3年原計画信 3, 600 >	式には の成り 式への ま 1 891 3 811 80 85 85 85 85 0 0 0 0 172 992 × 1 0 204	(目的の達成 名称 出席した新成 果指標(上位 名称 の出席率 R4年度 目標値 848 3 768 80 85 85 85 款 10 R4年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	大の出席率 立基本事業の R5年度 目標値 897 3 817 80 85 85 項 05 R5年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 0 1,992 600 × 1 0 204	単位 96 96 96 86年度 目標値 901 33 821 80 85 85 日 02 R6年度 目標値 3,074 0 0 0 0 0 3,074 1,992 600 × 1 0 0 5,066

様式1-2 事務事業名 No. 369 成人の日事業 高い出席率であるとおり、成人の日に対する新成人の期待感 この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 評 は高い。 理由 いませんか。十分な成果が 価 得られていますか? □ 得られていない С 環境の変化がないため、対象の見直しの必要はない。 事業進展等による環境変化 Н □ ある に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ē 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? Κ 環境の変化がないため、目的の見直しの必要はない。 事業進展等による環境変化 □ ある に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 生活環境に近いエリアでの開催。中学校単位での開催をすることで、成人式が 今以上に事業の成果を向上 身近なものとなり、参加率が増加する。 させる方法を記入して下さ 内 容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 例年概ね80%の出席率を達成しているが、R2年度は新型コロナウイルス感染 効性 目的達成状況 内 容 拡大の影響により出席率が低下している。 口民間への一部委託 □民間への全部委託 市関与の必要性 口指定管理 ■補助金·負担金助成 口市の直営 容 内 (実施手法) みよし市成人式実行委員会補助金交付要綱による 類似事業がないため統廃合不可 事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 記念アルバムの作成をやめることにより、撮影及びアルバム作成委託、発送に 率性 現状より事業費・人件費を かかる人件費が削減可能。 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内 容 できないか?) 受益者がいないため □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 公平 また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 対象者の増加、出席率等を考慮し新 近隣市の状況を見ながら実施方法を 事業実施上の課題、住 たな実施方法の見直しも必要となっ 検討していく。 革 民・議会等からの意見 対応策 意見 てきた。 改 と対応策 善 案 会場(総合体育館)設営は担当と実 サンアートで開催予定。会場設営を R3年度の事業計画は前 変更 行委員で実施。新型コロナウイルス 外部委託。 年度から変更・追加は 前年度 感染拡大防止のため2部制やYoutub あるか 追加 C e配信等対策を行った T 今後の事業・コスト・成果の方向性 今後の事業の方向性、改革・改善案 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 みよし市の将来を担う社会の一構成員として、新成人 П Ν の自覚と意識を促し、社会参加に対する意識の高揚を 改善 図ることは大切である。 現状維持 平成12年度より新成人で組織する「実行委員会」を 縮小 統合 設置し、自主的な企画運営による成人式を開催し、記 完了 憶に残る式典としている。平成18年度から、実行委 員会の委員を公募し、実施しており、社会参加に対す 廃止・休止

コストの方向性

成果の方向性

維持

維持

る自覚と意識の高揚に寄与している。